

つなげる笑顔

地域開発部部長 久保道典

豊田地区の活性化に向けた取組みの一つとして、県内各地の住民による6次産業化（生産・加工・販売・飲食含む）直売所の視察を行いました。

コロナ禍の中、人数制限せざるを得ない状況下での視察でありましたが、課せられた成果を持ち帰るべく、JAさがえ西村山アグリランド産直センター、JAさくらんぼ東根よってけポポラ、北村果樹園おによめ.com、高橋フルーツランドを視察しました。

各直売所とも、平日の午前中にも関わらず遠方からの客も含めて混み合っていました。



生産地の農家、住民、農協の連携によって運営されていました。

安心して新鮮な食べ物は命の基本なので、直売所は住み慣れた地域で生活していきたいと願う地域づくりそのものだと思います。

東根での生産者（おによめ北村陽子さん）との交流では様々な問題を抱えながらも、笑顔が途絶えることがないようにお互い支え合っているとのことでした。この地域の繋がりが世代を繋ぎ、果樹農家の未来を照らす源であると、女性パワーを感じてきました。

また、小麦が盛んに作られていた江戸時代から続く麩料理のお店で地元の食文化の歴史をお聞きしました。

今回の研修では各地の「地の利」を活かした様々な取組みの中で直売所の今があること、そして先ず失敗を恐れず始めてみるのが重要と感じました。女性と若者の発想と、年寄りの経験を活かした構想を語ることから始めてみませんか？

互いに繋がる楽しさ、未来に繋がる笑顔を残してくれた時庭の本間大仁さんのミニデサービス、駅周辺の整備、蓮池の思いを繋げていくのは私たちです。

地域活動の拠点としての地区公民館もコミュニティセンターへと形は変わりましたが、「地区民による地区民のための地域活動」の基本は変わりません。四季豊かな豊田をこれからも発信していきましょう。

